



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月7日

上場会社名 株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 6674 URL <https://www.gs-yuasa.com/jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 CEO (氏名) 村尾 修  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 松島 弘明 TEL 075-312-1211  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	374,880	19.7	18,994	36.6	16,063	△0.1	7,849	134.4
2022年3月期第3四半期	313,146	12.6	13,902	△3.3	16,076	△3.3	3,348	△40.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 15,754百万円 (110.5%) 2022年3月期第3四半期 7,484百万円 (△49.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	97.57	—
2022年3月期第3四半期	41.61	—

(参考) のれん等償却前営業利益 2023年3月期第3四半期 19,786百万円 (31.4%) 2022年3月期第3四半期 15,062百万円 (△6.3%)  
 当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	525,220	260,683	42.7
2022年3月期	480,763	249,938	44.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 224,450百万円 2022年3月期 215,233百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	35.00	50.00
2023年3月期	—	15.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	35.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	20.3	28,000	23.5	28,000	13.4	12,000	41.7	149.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	80,599,442株	2022年3月期	80,599,442株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	146,291株	2022年3月期	159,410株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	80,446,423株	2022年3月期3Q	80,486,836株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	11
3. 補足情報	12
(四半期損益の推移)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①業績全般の動向

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢等に起因する原材料価格上昇、エネルギーコスト増加などにより物価が上昇するなど、先行きは引き続き不透明な状況です。但し、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞が緩和されつつあり、中国ではゼロコロナ政策が見直されました。また、日銀が長期金利の許容変動幅を拡大したことにより、急激に進行した円安の流れに変化が生じました。

このような経済状況の中、当社グループでは、主としてハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加していることや、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketi（以下、「IGYA社」という。）を連結化した影響に加え為替の円安影響もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,748億80百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて617億33百万円増加（19.7%）しました。これに伴い、営業利益は189億94百万円（のれん等償却前営業利益は197億86百万円）と前第3四半期連結累計期間に比べて50億91百万円増加（36.6%）しました。経常利益は持分法による投資損益の悪化や為替差損の計上等により、160億63百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて12百万円減少（△0.1%）しました。前年度に減損損失を計上していた影響がなくなり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、78億49百万円と、前第3四半期連結累計期間に比べて45億円増加（134.4%）しました。

#### ②報告セグメント別の動向

##### （自動車電池）

国内における売上高は、販売数量は前年同期比を下回りましたが、販売価格は正の取組みを進め、631億40百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ43億円増加（7.3%）しました。セグメント損益（のれん等償却前）は、販売数量の減少により、42億35百万円と前第3四半期連結累計期間並に比べて38百万円減少（△0.9%）しました。

海外における売上高は、IGYA社を連結化した影響に加え為替の円安影響もあり、1,869億40百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて489億24百万円増加（35.4%）しました。セグメント損益は、物流費等のコスト増の影響を受けましたが、売上高増加の影響により、102億18百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて31億円増加（43.6%）しました。

これにより、国内・海外合算における売上高は、2,500億80百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて532億24百万円増加（27.0%）しました。セグメント損益は、144億53百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて30億61百万円増加（26.9%）しました。

##### （産業電池電源）

売上高は、大型風力発電用リチウムイオン電池の納入が前年度で終了した影響により、671億51百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて38億10百万円減少（△5.4%）しました。セグメント損益は、販売構成の変化により、35億10百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて14億70百万円増加（72.1%）しました。

##### （車載用リチウムイオン電池）

売上高は、ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売が増加したことにより、452億39百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて119億98百万円増加（36.1%）しました。セグメント損益は、9億77百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて3億24百万円減少（△24.9%）しました。

##### （その他）

売上高は、航空機用リチウムイオン電池の販売が増加したことにより、124億7百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて3億19百万円増加（2.6%）しました。全社費用等調整後のセグメント損益は、8億44百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて5億16百万円増加（157.7%）しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、棚卸資産の増加やIGYA社の新規連結により、5,252億20百万円と前連結会計年度末に比べて444億57百万円増加しました。

負債は、借入金の増加やIGYA社の新規連結により、2,645億36百万円と前連結会計年度末に比べて337億12百万円増加しました。

純資産は、配当金の支払がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加や為替レートの変動による為替換算調整勘定の増加などにより、2,606億83百万円と前連結会計年度末に比べて107億45百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2022年3月31日	当第3四半期連結会計期間 2022年12月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,855	25,163
受取手形、売掛金及び契約資産	85,399	91,018
電子記録債権	7,163	7,945
商品及び製品	54,986	65,240
仕掛品	19,236	22,284
原材料及び貯蔵品	18,828	28,251
その他	15,249	14,759
貸倒引当金	△418	△421
流動資産合計	226,300	254,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	56,279	59,468
機械装置及び運搬具（純額）	37,108	44,479
土地	23,335	23,978
リース資産（純額）	284	234
使用権資産（純額）	5,398	4,973
建設仮勘定	15,315	16,219
その他（純額）	5,284	5,795
有形固定資産合計	143,007	155,149
無形固定資産		
のれん	—	3,979
リース資産	825	711
その他	2,069	2,000
無形固定資産合計	2,894	6,692
投資その他の資産		
投資有価証券	66,319	65,377
退職給付に係る資産	32,954	33,692
繰延税金資産	2,338	2,724
リース債権	2,635	2,410
その他	4,595	5,221
貸倒引当金	△322	△320
投資その他の資産合計	108,520	109,106
固定資産合計	254,423	270,949
繰延資産	39	30
資産合計	480,763	525,220

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2022年3月31日	当第3四半期連結会計期間 2022年12月31日
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,174	54,109
電子記録債務	19,861	22,956
短期借入金	18,782	41,234
コマーシャル・ペーパー	2,000	8,500
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払金	12,041	9,348
未払法人税等	2,857	2,940
設備関係支払手形	274	314
設備関係電子記録債務	6,821	6,690
役員賞与引当金	120	—
その他	22,444	21,383
流動負債合計	129,376	177,478
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	41,696	37,684
リース債務	6,100	5,410
繰延税金負債	19,910	19,094
再評価に係る繰延税金負債	928	928
役員退職慰労引当金	67	73
退職給付に係る負債	4,892	5,576
その他	7,852	8,290
固定負債合計	101,447	87,057
負債合計	230,824	264,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	55,292	55,292
利益剰余金	93,661	96,667
自己株式	△351	△320
株主資本合計	181,623	184,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,180	14,177
繰延ヘッジ損益	△794	△328
土地再評価差額金	2,137	2,137
為替換算調整勘定	7,163	15,268
退職給付に係る調整累計額	8,922	8,536
その他の包括利益累計額合計	33,609	39,790
非支配株主持分	34,705	36,233
純資産合計	249,938	260,683
負債純資産合計	480,763	525,220

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日
売上高	313,146	374,880
売上原価	242,786	293,416
売上総利益	70,360	81,463
販売費及び一般管理費	56,457	62,469
営業利益	13,902	18,994
営業外収益		
受取利息及び配当金	635	927
持分法による投資利益	2,580	—
正味貨幣持高による利得	—	430
その他	480	520
営業外収益合計	3,696	1,879
営業外費用		
支払利息	678	2,220
持分法による投資損失	—	150
為替差損	243	1,469
その他	600	969
営業外費用合計	1,522	4,810
経常利益	16,076	16,063
特別利益		
固定資産売却益	535	112
投資有価証券売却益	52	7
子会社出資金売却益	547	—
段階取得に係る差益	—	1,010
子会社清算益	—	473
負ののれん発生益	989	—
その他	139	—
特別利益合計	2,264	1,604
特別損失		
固定資産除却損	442	344
固定資産売却損	25	11
減損損失	5,696	—
関係会社事業整理損	—	119
工場移転費用	1,192	—
その他	—	4
特別損失合計	7,356	479
税金等調整前四半期純利益	10,984	17,187
法人税等	4,909	5,690
四半期純利益	6,074	11,497
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,725	3,648
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,348	7,849

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日
四半期純利益	6,074	11,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	243	△1,959
繰延ヘッジ損益	22	206
為替換算調整勘定	1,439	4,651
退職給付に係る調整額	279	△385
持分法適用会社に対する持分相当額	△575	1,743
その他の包括利益合計	1,409	4,256
四半期包括利益	7,484	15,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,835	12,011
非支配株主に係る四半期包括利益	2,648	3,742

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	58,839	138,016	196,856	70,961	33,240	301,058	12,088	313,146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,023	2,680	3,703	11,211	8,923	23,838	△23,838	—
計	59,863	140,696	200,560	82,172	42,164	324,897	△11,750	313,146
セグメント利益	4,274	7,117	11,392	2,040	1,302	14,734	327	15,062

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△672百万円であり、セグメント間取引消去5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△677百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益13,902百万円との差は、のれん等の償却費1,159百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

国内連結子会社において、小田原事業所撤収の意思決定に伴い、当第3四半期連結累計期間において「自動車電池国内」セグメント104百万円、「産業電池電源」セグメント10百万円及び「その他」セグメント403百万円の減損損失を特別損失に計上しております。

海外連結子会社において、固定資産を使用している事業の収益性低下に伴い、当第3四半期連結累計期間において「自動車電池海外」セグメントにて4,859百万円の減損損失を特別損失に計上しております。

国内連結子会社において、開発途中の一部の固定資産につき、将来の事業化が見込めなくなったことに伴い、当第3四半期連結累計期間において「その他」セグメントにて318百万円の減損損失を特別損失に計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

「産業電池電源」セグメントにおいて、サンケン電設(株)(2021年5月1日付で株式会社GSユアサインフラシステムズへ社名変更)の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては989百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、上記の金額は暫定的に算定された金額であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	63,140	186,940	250,080	67,151	45,239	362,472	12,407	374,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	979	3,512	4,492	12,941	2,281	19,715	△19,715	—
計	64,120	190,453	254,573	80,093	47,521	382,188	△7,308	374,880
セグメント利益	4,235	10,218	14,453	3,510	977	18,941	844	19,786

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△831百万円であり、セグメント間取引消去△55百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△776百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益18,994百万円との差は、のれん等の償却費791百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「自動車電池海外」セグメントにおいて、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの株式を取得し連結子会社としたことにより、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

これに伴うのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において4,121百万円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(追加情報)

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの株式を追加取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間において、連結子会社であったYTTL International Holding Ltd.は、清算に伴い、連結の範囲から除外しております。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症による当社グループの事業への影響に関する会計上の見積り等に用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(超インフレ経済下における会計処理)

第1四半期連結会計期間より、トルコ共和国にある連結子会社であるInci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの四半期財務諸表について、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に従った調整を実施しております。

これに伴い、当該会計基準を遡及適用した場合の累積的影響額として、第1四半期連結会計期間の期首利益剰余金が401百万円減少し、期首為替換算調整勘定が2,019百万円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 四半期損益の推移

2023年3月期(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2022/4-6)	②第2四半期 (2022/7-9)	③第3四半期 (2022/10-12)	④第4四半期 (2023/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	111,429	123,794	139,655	—	235,224	374,880	—
営業利益	3,570	4,653	10,770	—	8,224	18,994	—
経常利益	2,246	3,769	10,048	—	6,015	16,063	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	612	1,100	6,135	—	1,713	7,849	—

2022年3月期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2021/4-6)	②第2四半期 (2021/7-9)	③第3四半期 (2021/10-12)	④第4四半期 (2022/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	95,458	99,666	118,022	118,986	195,124	313,146	432,133
営業利益	3,210	2,016	8,675	8,761	5,226	13,902	22,664
経常利益	4,268	2,301	9,507	8,607	6,569	16,076	24,684
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,681	△473	1,141	5,119	2,207	3,348	8,468

2021年3月期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2020/4-6)	②第2四半期 (2020/7-9)	③第3四半期 (2020/10-12)	④第4四半期 (2021/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	76,376	95,949	105,691	108,494	172,325	278,016	386,511
営業利益	1,002	4,292	9,089	10,426	5,294	14,383	24,810
経常利益	1,699	4,800	10,123	10,655	6,500	16,623	27,279
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	△27	149	5,546	5,787	121	5,667	11,455

2020年3月期(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2019/4-6)	②第2四半期 (2019/7-9)	③第3四半期 (2019/10-12)	④第4四半期 (2020/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	90,082	100,331	102,662	102,476	190,414	293,077	395,553
営業利益	2,040	5,508	6,872	7,254	7,549	14,421	21,676
経常利益	2,873	5,551	7,499	7,185	8,424	15,924	23,109
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,473	3,300	4,430	4,469	4,774	9,204	13,674

2019年3月期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2018/4-6)	②第2四半期 (2018/7-9)	③第3四半期 (2018/10-12)	④第4四半期 (2019/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	96,256	99,158	110,230	107,442	195,415	305,646	413,089
営業利益	2,917	4,038	7,358	8,339	6,956	14,315	22,654
経常利益	3,165	4,327	8,308	8,927	7,492	15,800	24,728
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,430	2,023	6,636	3,433	3,454	10,090	13,524